

■ 実態調査と課題把握

○ 遊漁・体験漁業の実態調査の実施

(H28.2~3)

【まとめ】

- ・バブル崩壊後、利用客は減少し、固定化の傾向
- ・一部地域・業種を除き、経営は小規模零細
- ・後継者が少なく、新規就業者もわずか
- ・多くの事業者が経営不振により、必要な設備投資を先送り
- ・情報発信に対する事業者のニーズは高い
- ・大半の事業者が漁協に加入しており、漁協との関係は概ね良好
- ・海面利用を巡る漁業者間の自主的なルールは定着
- ・まき餌の規制緩和にニーズあり(宿毛地区等)

○ 地域本部・市町村との協議 (H28.4~5)

- ・各地域の素材の把握、現状と課題の共有
- ・素材を生かした新たな取組の掘り起こし、取組のバージョンアップに向けた協議

○ 専門家からの意見聴取 (H28.5)

- ・遊漁にも行政が積極的に関わるべき
- ・高知の遊漁等事業者は情報発信が苦手(ポイントにはメディアの活用)
- ・宿泊を伴うような仕掛けと情報発信が必要
- ・釣り初心者の取り込みのためのツールが必要
- ・女性の呼び込みには清潔なトイレが必須

○ 釣具店からの意見聴取 (H28.8)

- ・受入体制(釣具の貸出し、釣り方の指示等)次第で、ファミリー層等の顧客獲得は可能
- ・遊漁船へ「釣りガイド」が乗船すれば集客につながるのでは。

◆ 課題

- ・サービス業としての意識改革とノウハウの取得
- ・安全で快適なサービス提供による女性客の掘り起こし
- ・事業者間の連携による効果的な情報発信と受け入れ体制の整備
- ・漁業との兼業による経営の安定と新規就業者の確保
- ・実態に即した規制緩和

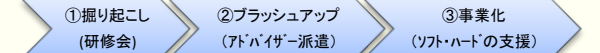
■ H28年度の取組と進捗状況

■ 遊漁等振興事業の創設 (H28年度9月補正予算)

研修会の開催により遊漁船業全体の底上げを図るとともに、協業化や事業者間で連携して行う遊漁船業者等を対象にソフト・ハードの両面で支援

- ① サービス業としての意識改革、ノウハウ習得のための研修会開催
- ② アドバイザーによる経営実態を踏まえた個別指導
- ③ 安全性やサービスの機能の強化に資するソフト・ハードの支援
- ④ 遊漁船業者等に対する低利融資の支援

個別の取組の支援手順



掘り起こしから事業化までを一貫サポート
漁業指導所・地域本部・市町村

■ 県内各地の取組の推進

● 浦ノ内湾における釣筏を中心とした遊漁・体験漁業

【現状と進捗状況】

- ・チヌ釣りを中心とした釣筏が営業 波は穏やかで屋根やトイレを完備
- ・浦ノ内湾釣筏振興協議会を設置(6/13:8経営体)し、取組内容の検討をスタート
- ・アドバイザーを招へい(7/26)し、情報発信、新たな顧客層の獲得、筏の新たな利用形態等について助言を取得

- ・ライフジャケット、釣り竿を整備(奥四万十博推進事業費助成金)
- 9/8、11/16 : 城西館観光ツアーを実施(合計43名)

*1月: 遊漁等振興事業によるライフジャケット整備、PRグッズ・HPの作成に着手

- 1/20: アドバイザーを招へいし、城西館観光ツアーの受入れ時の状況を踏まえた、今後の改善点等(魚が釣れない時の対応、リピーターの確保等)について関係者で意見交換 ※次回(3月上旬予定)は団体客、修学旅行生等の受け入れに向けてアドバイザー及びホテル関係者と協議予定
- *1/25、26: 先進地視察(和歌山県堅田漁協の釣り筏)

【課題】

- ・家族、観光客など新たな顧客層の呼び込みと、筏上でのきめ細かなサービスの提供
- ・団体客の受入れのための体制の構築

● 安芸市の観光漁業(シラス漁業)

【現状と進捗状況】

- ・遊漁船業者7経営体が県東部観光協議会と連携し、シラス漁業の見学とシラスの船上試食のモニターツアーを実施(3回)
- 11/18: とさでんツアー「じゃこ漁と釜揚げちりめん加工見学モニターツアー」(12名)
- ・東部観光協議会がJR四国等へ旅行商品として提案中
- 1月: 遊漁等振興事業による受入体制整備(漁船の安全装備)及びHP作成に着手

【課題】

- ・東部観光協議会との連携や他の観光素材との組み合わせによる効果的な情報発信と観光メニューとしての定番化

● あしずり港等を活用した遊漁等、体験メニューの展開

【現状と進捗状況】

- 7月: アウトドアアクティビティ事業を幅多エリアで展開する民間企業が開業
- ・民間企業、観光協会、養殖業者が、あしずり港での遊漁等の展開について検討開始
- 10/29: ジョン万祭において試験的に簡易な海上釣り堀を出展
- 11/17: 関係者が大分県佐伯市の海上釣り堀を視察
- 1/6: 関係者が遊魚等の運営体制などについて協議
- 1/26: 具体的な計画づくりに向けてアドバイザーと協議(次回3/14予定)

【課題】

- ・他の観光素材との連携によるメニューとしての定番化
- ・観光客の興味をひく仕掛けづくりと効果的な情報発信
- ・採算が確保できる事業計画の策定

■ H29年度の取り組み(案)

■ 遊漁等振興事業(H29年度当初予算案)

- 研修会の開催などにより遊漁船業全体の底上げや新たな取組の掘り起こし
- 協業化や事業者間の連携による取組に対するアドバイザーの派遣やサービス機能の向上に向けたソフト・ハードの支援
 - ・H28年度に取組の始まった浦ノ内の釣り筏、安芸のシラス漁見学、あしずり港での釣り堀の取組の強化を支援
 - ・大月町の渡船組合や宇佐のホテルウオッチングなどの新たな取組を支援

■ 県内各地の取組の推進

● 浦ノ内湾における釣筏を中心とした遊漁・体験漁業

(1) 情報発信

- ・ブログ、HP開設、パンフレット、PR資材の活用、動画の配信等
- (2) 家族連れ、カップル、観光客(ホテル宿泊客等)など幅広い客層の確保
 - ・釣具店と連携した親子釣大会等の開催
 - ・安定した釣果を得るための釣り方の多様化の検討
 - ・筏上へのサポーターの配置、ライフジャケットや貸し釣具の整備、地域食材を利用した弁当の販売など、きめ細かいサービスの提供

(3) 団体観光客の受け入れ

- ・団体客の受け入れに向けた課題の整理と対応策の検討・実施
- ・他の体験漁業等(ホテルウオッチング、貸し舟等)との組み合わせによる受け入れキャパ確保の検討
- (4) 修学旅行生の受け入れ
 - ・体験学習メニューの提案(他の体験観光と連携)による修学旅行生の確保

● 安芸市の観光漁業(シラス漁業)

(1) 情報発信

- ・東部観光協議会と連携した旅行代理店等への効果的な情報発信
- (2) 受入体制の整備等
 - ・周辺の観光素材(ちりめん丼、しらす干し加工体験等)との連携
 - ・体制の充実、強化(荒天時対応、トイレ等)による旅行商品としての定着

● あしずり港等を活用した遊漁等、体験メニューの展開

(1) 取り組み

- ・あしずり港において、民間事業者が中心となり、遊漁とマリナクティビティ(トーチングチューブ、シーカヤック等)を組合せた複合的な体験メニューに着手(H29年3月~予定)

(2) 情報発信

- ・維新博等と連動した効果的な情報発信

(3) 受入体制の整備等

- ・遊漁船業者としてのスキルアップ、事業運営や集客面でのノウハウの蓄積
- ・レンタル釣具、ライフジャケット、釣り施設等の整備
- ・差別化できる魅力・仕組みづくり(地域との連携による釣客への食の提供、魚の高鮮度処理・発送等のサービスなど)

● その他の取組

- ・大月町渡船協会: 釣り人口の拡大に向けた、子供たちを対象とした釣り教室の開催
- ・ホテルウオッチング(土佐市): 集客の拡大に向けた情報発信の充実
- ・潮干狩りの復活(天皇洲): H30秋の一部解禁に向けた、地元協議会の取組(大規模被せ網による資源回復) など

漁村への交流
人口の拡大付随する事業
(弁当・食事提供、
受付窓口等)を創出し、
集落活動へつなげる

集活センター

漁業の担い手の育成・確保

- 拡充** ○漁業就業者確保対策事業 (56,763千円)
- ・就業希望者に対する短期研修や、漁業者としての自立に必要な技術習得のための長期研修を支援
 - ・漁村での幅広いライフスタイルを提案する勧誘活動や短期研修の実施

- 担い手育成団体支援事業 (19,270千円)
- ・漁業生産の維持拡大と優秀な担い手の確保を図るため、民間企業や漁協(担い手育成団体)が行う漁業の担い手の育成を支援
 - ・担い手育成団体による新規就業希望者の掘り起こし等を推進

漁業生産の構造改革

- 拡充** ○沿岸漁業経営体法人化支援事業 (531千円)
- ・沿岸漁業経営体の法人化による企業経営への転換を支援
- 拡充** ○養殖業新規参入等支援事業 (30,000千円)
- ・養殖業おける民間事業者等の新規参入や規模拡大等を促進
- 拡充** ○マグロ養殖振興事業 (83,558千円)
- ・クロマグロの人工種苗生産の事業化に向けて、受精卵を採取するための親魚養成や種苗生産の委託、中間育成施設の整備を支援
- 拡充** ○沿岸漁業設備投資支援事業 (28,186千円)
- ・中核的漁業者の漁船取得等を支援し新規参入や事業継続を促進

産地加工体制の確立

- 水産物前処理加工等育成支援事業 (1,330千円)
- ・事業者間連携による前処理加工等の事業化、漁村での6次産業化、地域で活動する加工グループの取組を支援
- 水産物輸出促進事業 (16,790千円)
- ・海外販路を開拓し、輸出を促進
 - ・HACCP基準に対応する衛生管理体制の高度化、海外販路開拓への情報収集や商談会出展などの取組を支援

水産物の外商強化

- 拡充** ○水産物都市圏外商ネットワーク強化事業委託料 (14,894千円)
- ・「高知家の魚応援の店」の登録の拡大、県内事業者と「応援の店」のマッチング機会の拡充による外商活動の推進
- 水産物外商活動支援事業委託料 (22,702千円)
- ・「高知家の魚 応援の店」へのニーズ収集やサンプル出荷、産地における高鮮度処理体制の強化等による、県産水産物の地産外商の推進

活力ある漁村づくり

遊漁・体験漁業の振興

- New** ○遊漁等振興事業 (7,866千円)
- ・意欲ある事業者を対象とする経営実態を踏まえた助言指導(遊漁船業等アドバイザー事業委託料)
 - ・安全性の向上やサービス機能の強化に資する設備等の整備、事業者間の連携によるソフトの取組を支援(遊漁船業等振興事業費補助金)
 - ・意識改革とノウハウの取得に向けた、専門家による研修会の開催

- New** ○アサリ資源回復対策事業費 (2,400千円)
- ・天皇洲のアサリ資源の回復(H30年の潮干狩りの解禁に向けて)を図るため、地元の協議会による大規模被せ網敷設の取組を支援

- 滞在型・体験型観光推進事業 (1,230千円)
- ・漁村の滞在型・体験型観光メニューの磨き上げや、新たなメニュー作りの支援
 - ・HP「漁村感動体験!!タラッタ!こうち」による効果的な情報発信

高齢者等に対応した漁場づくり

- New** ○水産業強化支援事業 (9,000千円)
- ・高齢者に配慮した近場の漁場づくり(投石事業)への支援

- 水産多面的機能発揮対策事業 (6,826千円)
- ・藻場の回復、河川環境保全など、漁村の多面的機能の発揮に向けた取組を支援

にぎわいのある河川づくり

- アユ
- ・あゆ等(あゆ、もくずがに)放流用種苗生産事業 (100,305千円)
 - ・内水面漁業資源保全事業(食害生物の駆除等) (20,200千円)
 - ・本県の天然アユ資源を回復させるための取組支援 (2,191千円)
 - ・アユ人工種苗の資源添加技術の確立及び種苗性の確保 (1,408千円)
- ウナギ
- ・内水面漁業資源保全事業(再掲)(ウナギ種苗の放流) (20,200千円)
 - ・ウナギ生息状況等緊急調査事業 (2,052千円)